

# 1人1鉢から始めよう 花 いっぱいのまち 薩摩川内を目指して

【問合せ】=本庁環境課生活環境グループ ☎(23)5111(内線2741)

平成26年から実施している「花いっぱいまちづくり推進事業」も4年目。市民の皆さんの協力を得て、最近市内各地で多くの花壇を見掛けるようになりました。

平成32年には鹿児島国体が開催されることが決定し、本市も6競技の会場となります。まちを花いっぱいにして選手・関係者の皆さんを迎え、もてなしましょう。

## 推進体制

地域の環境美化および市民のおもてなしの心の創出を目的として、市民・地域・各種団体・行政などが一体となった「花いっぱいまちづくり推進協議会」を設置しました。この中で、花いっぱいまちづくり事業を推進するための調整や研究をし、「花いっぱいまちづくり推進プラン」の策定、啓発活動を実施しています。本年度は、3年後に迫った鹿児島国体に向けての取り組みを協議します。

## 地域での取り組み

- ① シンボル花壇の設置  
地域の特性を生かし、憩いの場となるような花の名所づくりを推進します。
- ② 市民花壇の設置  
ボランティア団体や市民が管理する市民花壇の設置を推進します。

## 家庭での取り組み

- ① 花苗1人1鉢運動の推進  
一人一人が花に触れることが大切です。まずは家庭に花苗を植えることから始め、お隣へと広げていきましょう。
- ② オープンガーデンの推進  
自宅の庭を公開していただき、庭を介して人と人の交流づくりを推進します。



マスコットキャラクター  
カノコユリの妖精  
**カノッコ**



## STOP 特定外来生物「オオキンケイギク」を駆除しましょう!

オオキンケイギクは、別名「**特攻花**」とも呼ばれ、5月から7月頃にかけて、黄色のコスモスに似た花を咲かせる植物です。繁殖力が非常に強く、いったん定着すると在来の植物を駆逐し、周辺環境に影響を及ぼす恐れがあるため、平成18年に「特定外来生物」に指定され、生きたままの運搬・栽培・販売などが禁止されています。オオキンケイギクが庭などに生えているのを見掛けたら、すぐに駆除しましょう。その際は、根から引き抜き、種子が飛び散らないよう袋に入れ、枯死させてから燃やせるごみに出しましょう。



みんなで支えよう

# 認知症に対する 取り組み



自分のこと、家族のこと、一人で悩まず、まずは、かかりつけ医に相談ください。本庁高齢・介護福祉課、市地域包括支援センターでも相談を承っています。

【問合せ】=本庁高齢・介護福祉課介護給付グループ ☎(23)5111(内線2675・2676)  
市地域包括支援センター(永利町 市総合福祉会館内) ☎(24)3331

## 認知症とは

高齢化に伴い、全国的に認知症の人数が増えています。厚生労働省は、全国で認知症を患う人の数が2025年(平成37年)には700万人を超えるとの推計値を発表しています。これは、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症になるという計算になります。

## 認知症に対する 本市の取り組み

本市では、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく生活することができる社会を目指し、国が定めた「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき、さまざまな事業を実施しています。

### ① 認知症サポーター養成講座

認知症への理解を深めるための普及・啓発を推進するために実施しています。「認知症サポーター」は、何か特別なことをする人のことではありません。認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守る「応援者」のことです。この養成講座を受講した方には、サ

ポーターの証である「シール」を渡しています。現在、市内には延べ約1万人の受講者がいます。



### ② 認知症初期集中支援チーム

認知症の方やその家族に対し、認知症の専門医、専門知識を持つ保健師や社会福祉士などがチームで支援する活動を行っています。病院受診や介護サービスにつながるなど、認知症の心配事は何でも相談ください。

### ③ 認知症相談会

認知症(若年性認知症を含む)に関する相談窓口として、認知症の専門知識を持つ「認知症地域支援推進員」による個別相談会を各地で開催しています。相談会の日程は、随時広報紙でもお知らせしています。

### ④ 認知症カフェ・ 家族介護者交流会

認知症カフェは、認知症に関する理解や認知症の人とその家族を支える地域づくりを促進し、誰もが気軽に集い、交流できる場として開催しており、市内に10カ所あります。どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。また、介護をしている方が中心に活動している「家族介護者交流会」もあります。

### ⑤ 認知症ケアパス

認知症と疑われる症状が発生したときから、認知症が進行していくそれぞれの過程において、その人の状況に応じたサービスの流れを示した「認知症ケアパス」を作成し、配布しています。

### ⑥ ミニデイサービス・ 認知症予防教室

高齢者の健康づくりの場として、介護予防教室を実施しています。ミニデイサービスは、65歳以上を対象に、運動を中心に認知症予防、口腔栄養などの内容を含んだ教室で、市内21カ所で開催しています。

### ⑦ 認知症徘徊高齢者等SOS ネットワーク事業

徘徊の恐れのある高齢者を事前に登録して、日頃から見守りを行うとともに、徘徊発生時には市地域包括支援センターを中心に、関係機関が連携して早期発見・保護に努める事業です。登録を希望される方は、市地域包括支援センターに問い合わせください。

\*本市の各取り組みに関する詳細については、問い合わせください。